

経営比較分析表

岐阜県 下呂市

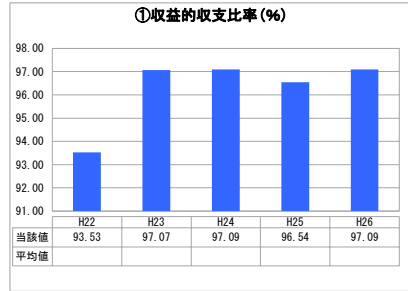
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.85	88.08	2,138

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,976	851.21	41.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,874	3.17	2,168.45

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



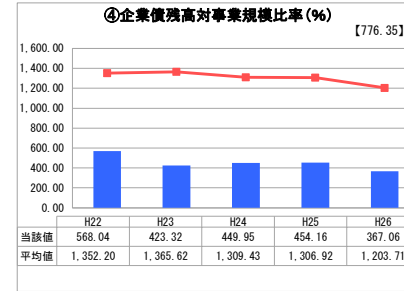
「単年度の収支」



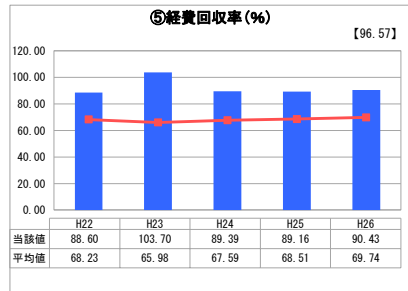
「累積欠損」



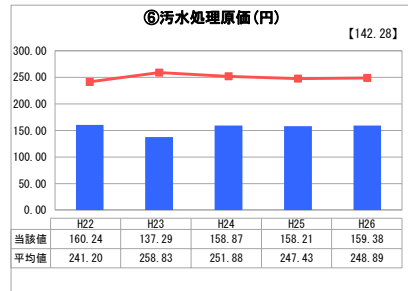
「支払能力」



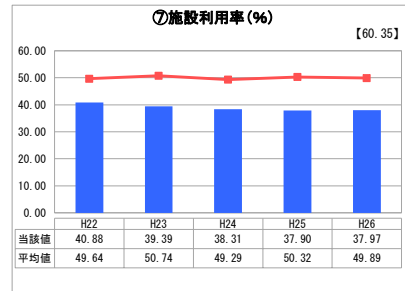
「債務残高」



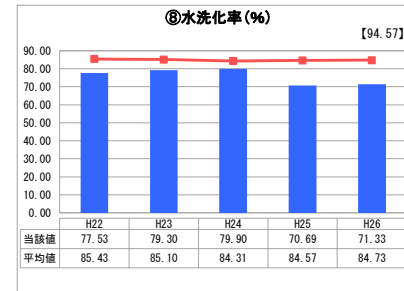
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

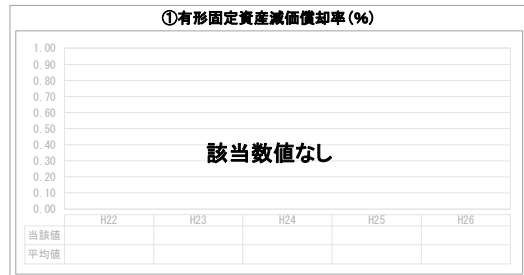


「施設の効率性」

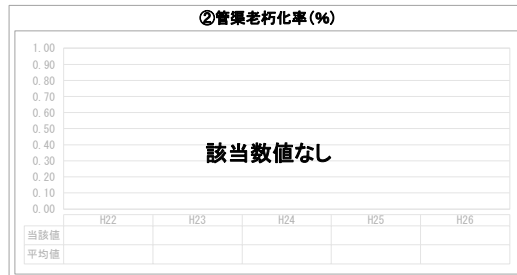


「使用料対象の捕捉」

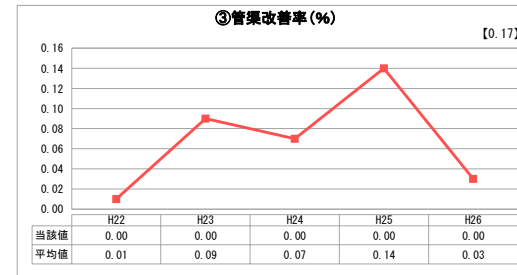
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は毎年赤字であるとともに経費回収率も100%を下回っている。類似団体と比べて、処理区域が小さいため施設の維持管理費が補えない状況となっている。また人口減少や景気の動向などにより接続率が低いため水洗化率が低く、接続率の増加が今後の健全経営への課題であると分析する。

料金収入で賄えない資本費を一般会計から繰り入れているため汚水処理原価は低くなっているが、更新投資の費用の確保も困難で、将来の見込みを踏まえた効率的な投資とともに、接続率の増加への取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

建設後10年が経過する施設が多く、機器の更新に迫られているため、長寿命化計画により効率的な投資を図っている。

管路についても不明水の流入が多くなってきているため調査に取り組んでいる。

全体総括

人口減少などにより有収水量が減るとともに、基金も枯渇したなかで、老朽施設の更新や耐震化に取り組まなければならない。処理区の統合を進めており維持管理費の削減を図ろうとしているが、今後は料金改定や、更なる処理場の統合を含めた効率的な投資、運営を心がける。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。